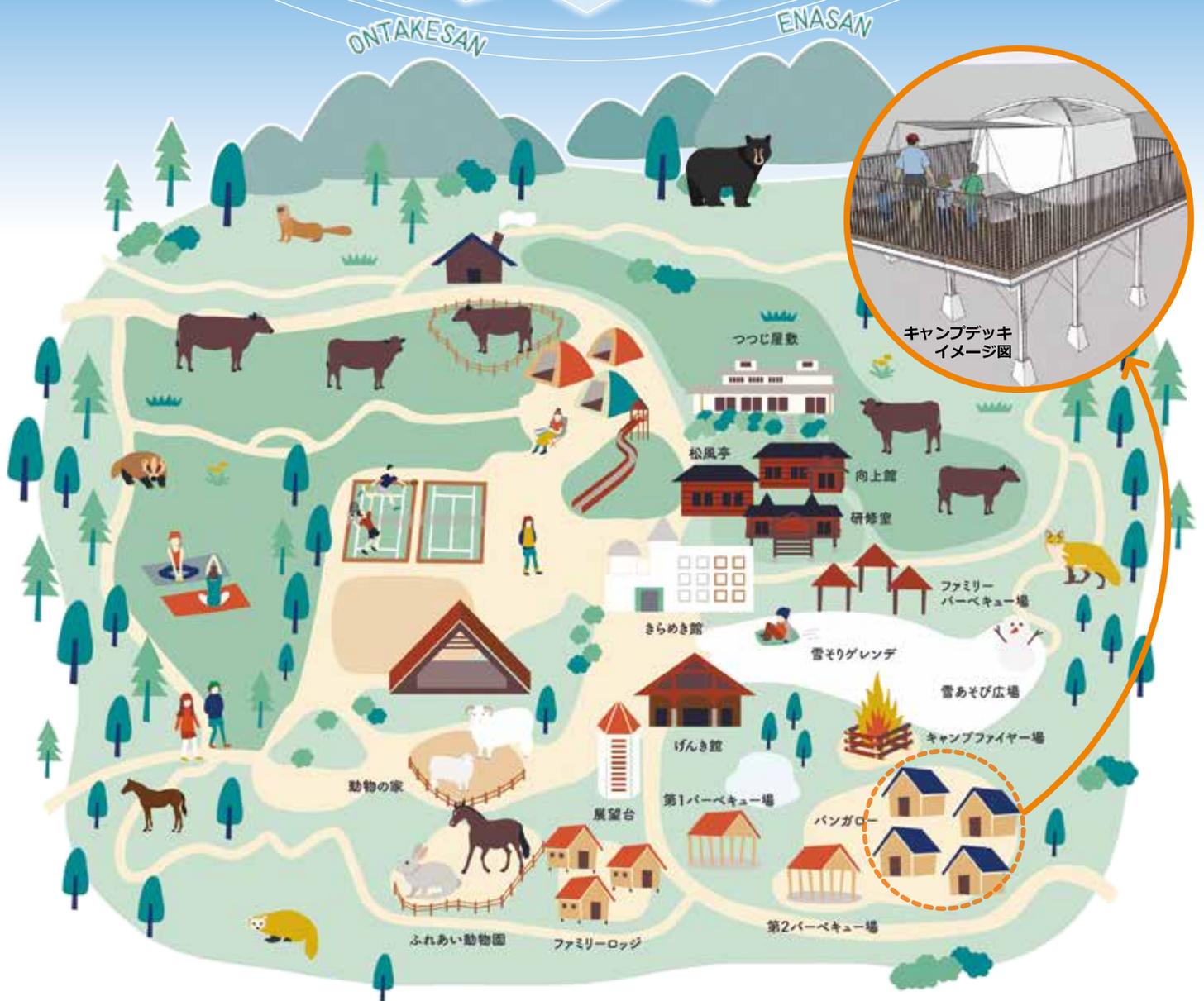


とよた 市議会だより

TOYOTA CITY COUNCIL No.169



表紙のイラストと関係議案 (議案第74号関係)

旭高原自然活用村(旭高原元気村)の全体マップです。今回、施設の魅力向上に向け、自然活用村にあるバンガローがキャンプデッキに更新されるほか、テントベース等の利用日が変更されます。

6月市議会 定例会号

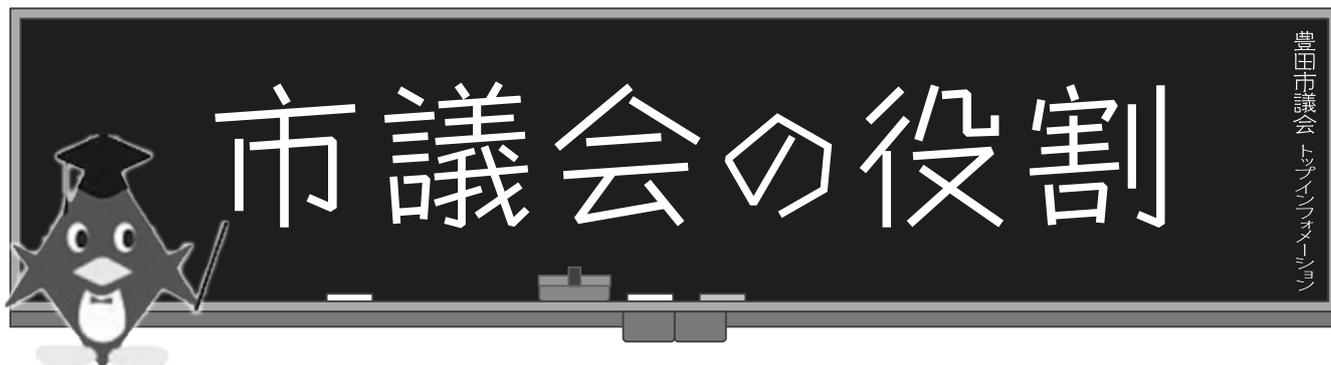
令和4年8月1日

目次

■ トップインフォメーション 市議会の役割	2
■ 議案審議結果	4
■ 議案説明・討論	5
■ 常任委員会 付託案件を審査	6
■ 一般質問 市政を問う! 19人の議員が質問	8
■ トピックス 議員提出意見書	12

全国市議会議長会表彰

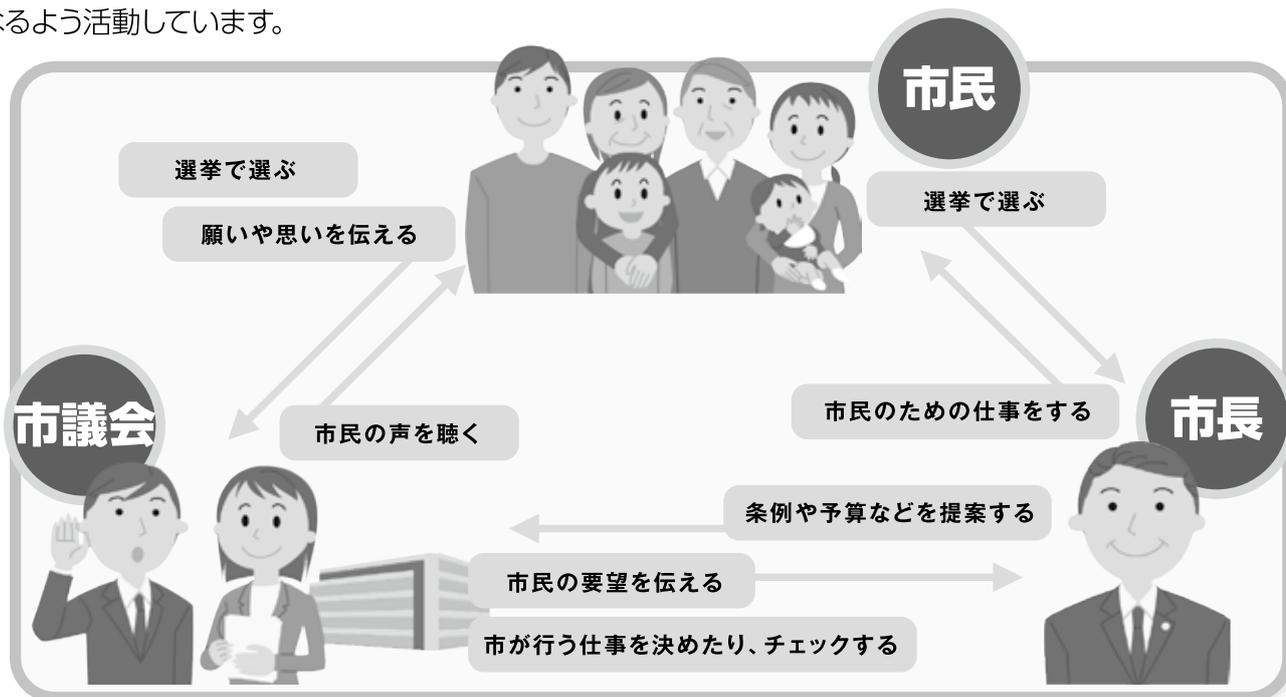
トップインフォメーション



市議会の役割

誰もが住み続けたいと思うような住みやすいまちにしていくなめには、市民全員が集まって話し合うことが最も理想的です。しかし、実際に市民全員が集まって話し合うことは、現実的ではありません。そこで、市民の皆さんが選挙によって自分たちの代表となる人を選び、その代表者が今後のまちづくりや社会福祉などについて話し合いを行います。この選挙によって選ばれた代表者を市議会議員、話し合いの場を市議会といいます。

市議会議員は、市の取組をチェックしたり、市民の皆さんの声を市に伝えたりすることで、住みやすいまちになるよう活動しています。



議会ではどのように話し合いをしているの

市議会では議会に提出された市の条例や予算※・決算※などの議案※の内容をチェックします。

本会議の限られた時間の中で、議案を詳細に話し合う（審査）ことは大変難しいことです。そこで、委員会という担当を分担し詳しく話し合いをする会議を作り、その中で、議案をさらに詳しく審査しています。現在、本市では6つの常任委員会（企画総務、地域生活、教育社会、環境福祉、産業建設、予算決算）を設置しており、議案の内容によって、各委員会へ付託※しています。

その後、委員会での審査を経て、本会議で最終的に個々の議案について賛成か反対かを明らかにしています。

- ※予算…市のお金（税金等）をどのように使うか計画を立てたもの
- ※決算…最終的にお金（税金等）をいくら使ったか整理したもの
- ※議案…市議会に提案され話し合われる案件
- ※付託…議案の詳しい話し合いや研究を委員会にゆだねること

市議会の流れ



市議会の様子を実際に傍聴・見学していただけます。

●議会の傍聴とは

本会議や委員会の様子は子どもを含め、どなたでも傍聴していただけます。

当日、傍聴受付で住所・氏名を記入いただいた方に、傍聴券を配付します。車椅子での傍聴や盲導犬・介助犬を伴った傍聴も可能です。また、手話通訳者をご希望の方は、5日前までに議会事務局までお申し込みください。

本会議を開催していない日は、議場を見学することができます(土・日・祝日を除く)。職員が案内しますので、見学をご希望の際は、事前に議会事務局までご連絡ください。

議場見学は個人、又は団体での受け入れもしていますので、お気軽にご相談ください。

※議会の期間や日程は広報とよた、市議会ホームページなどをご参照ください。

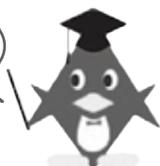
※新型コロナウイルス感染症対策により、感染状況を考慮し、議場の傍聴や見学をご遠慮いただく場合がございますので、ご協力をお願いします。



▲傍聴席からの議場

先生必見!!

学校の社会見学として
議会を傍聴できるよ!



●お問い合わせ

豊田市議会事務局 (豊田市役所・南庁舎6F)
TEL.0565-34-6665 FAX.0565-34-6566
Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

傍聴受付

※会議が始まる30分前から受付
本会議→市役所南庁舎8階 委員会→同7階委員会室前

※議案名など一部省略して記載しています

6月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く																
			自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名										
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対									
◆議案																			
第65号	市税条例等の一部改正条例	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0									
66	都市計画税条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
67	過疎地域の持続的発展に係る固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
68	地域文化広場条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
69	美術館条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
70	文化財施設条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
71	体育施設条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
72	市民文化会館条例の一部改正等の条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
73	交流館条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
74	旭高原自然活用村条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
75	地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
76	令和4年度一般会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
77	令和4年度介護保険事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
78	工事請負契約の締結(どんぐりの湯長寿命化空調設備修繕等工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
79	// (市木小学校施設保全改修工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
80	// (五ヶ丘東小学校施設保全改修工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
81	// (挙母小学校施設保全改修工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
82	// (広川台小学校施設保全改修工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
83	// (美山小学校施設保全改修工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
84	// (梅坪台中学校施設保全改修工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
85	工事請負契約の変更(都市計画道路高橋細谷線電宮橋橋りょう整備工事(その7))	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
86	財産の取得(情報漏えい対策ソフトウェアライセンス)	//	27	0	10	0	4	0	2	1									
87	// (放課後児童施設(青木小学校))	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
88	// (放課後児童施設(井上小学校))	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
89	// (放課後児童施設(梅坪小学校))	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
90	// (高規格救急自動車)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
91	// (化学消防ポンプ自動車)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
92	// (多目的資機材搬送車)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
93	// (リモートコントロール式の消火・排煙車)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
94	// (授業用ICTカート)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
95	令和4年度一般会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0									
◆同意																			
第4号	人権擁護委員の推薦(再任:倉地雅博氏はじめ4名。新任:今西モト子氏はじめ2名)	同意	27	0	10	0	4	0	3	0									
◆報告																			
第4号	専決処分の報告(補正予算2件)																		
5	継続費等の報告																		
◆陳情																			
第2号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出を求める陳情																		
3	公契約事業者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情																		
4	直ちに1日8時間働けば人間らしく暮らせる社会を実現するとともに、1日7時間労働制をめざすことを求める意見書の提出を求める陳情																		
5	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情																		
6	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情																		
7	福祉職員や保育で働く職員の人材定着・確保のため職員配置基準と報酬・公定価格を抜本的に改善し、離職しない福祉・保育現場の実現を求める意見書の提出を求める陳情																		
8	消費税率5%への引き下げと大企業や富裕層への適正な課税、インボイス制度の中止を求める意見書の提出を求める陳情																		
9	[1年単位の変形労働時間制]導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情																		
◆議員提出意見書																			
第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書(案)	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0									
3	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書(案)	//	27	0	10	0	4	0	3	0									

条例の一部改正、補正予算など31議案を議決

市内の公共施設でキャッシュレス決済の導入が進みます。

【議案第68号】 地域文化広場条例の一部改正条例 ほか3議案（第69号・第71号・第73号）

本市におけるデジタル施策の取組方針である支払手続のキャッシュレス化に向け、現金を取り扱う一部の窓口でキャッシュレス決済が先行導入されます。今回の条例改正により、令和4年度はスカイホール豊田、東山体育センター、地域文化広場、美術館、交流館5館において、施設使用料がスマートフォン決済等により支払いができるようになる予定です。



6月市議会定例会の最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等の議員が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。*発言順に記載

根本美春 諸派

情報漏えい対策ソフトウェアライセンスは個人情報保護の観点から、反対

議案第86号：反対。地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行を背景として、本市の業務ネットワーク環境は、標準準拠システムへの移行が進められる。本市は国が整備する全国的なクラウド上に構築される情報システムを利用することになるが、国による情報システムの標準化に基づき、国と自治体行政の相互の間で連携・統合を進めることに対し、個人情報保護の観点からも問題であり、地方自治の本旨に反することを指摘し、反対。

杉本寛文 自民クラブ

情報漏えい対策ソフトウェアライセンスの導入は経費削減と利便性の向上につながり、賛成

議案第86号：賛成。現在本市では、業務系のパソコンとインターネット系パソコンは別々のネットワークを使用しているが、今回の情報漏えい対策ソフトウェア導入により一本化され、便利で安価なクラウドサービスの導入が可能になる。新しいネットワーク構築には、今年度中に今回の情報漏えい対策ソフトウェアをはじめ、ネットワーク機器の購入費や導入費用等が必要だが、数年間のトータルコストでは現在の構成による経費を下回り、経費削減と利便性の向上につながる取組であると評価し、賛成。

吉野英国 市民フォーラム

令和4年度一般会計補正予算は迅速な市民への支援に期待し、賛成

議案第76号：賛成。新型コロナウイルス感染症による影響の長期化や昨今の物価高騰への対応として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの活用により、給食費の据置きによる子育て世帯への支援や、生活困窮者、中小企業者等への支援であることを確認。国や県の施策では対応しきれない分野へ市として早急に支援することを評価。今後も国の補助金を最大限活用し、社会情勢に合わせた迅速な市民への支援と成る取組に期待し、賛成。

大石智里 公明党

令和4年度介護保険事業特別会計補正予算は安心して暮らせるまちの実現を期待し、賛成

議案第77号：賛成。デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用して、介護認定審査会のデジタル化を進めることにより、介護認定審査会の効率的な運営が可能となる。高齢者等の暮らしを支える人材の確保が厳しい状況にある中、審査会の効率化により生み出した時間を、高齢者等の相談対応や訪問診療、介護保険サービス利用者等と接する時間等に充て、より安心して暮らすことができるまちの実現が期待できることを評価し、賛成。

岡田耕一 諸派

救急自動車や消防車両の更新は各種装備品の老朽化等を勘案し、適切な更新であるため、賛成

議案第90号から第93号まで：賛成。緊急消防援助隊設備整備費補助金や、財政負担の平準化と民間等の資金よりも利子が低く抑えられる過疎債の活用を評価。リモートコントロール式の消火・排煙車は、排煙電源車からの変更で車両の小型化により工場や大規模倉庫内の狭隘な場所での活動や遠隔操作による危険区域内への進入が可能になり、放水や送風を行いながらの移動や、障害物を排除できるブレード活用により有効な位置での消火・排煙活動ができることを評価し、賛成。

中島竜二 諸派

授業用ICTカートの購入は、子どもたちの学習意欲の向上を期待し、賛成

議案第94号：賛成。プロジェクターとワゴン等がセットになった授業用ICTカートの購入について、従来のプロジェクターのランプ寿命は3年ほどだったため、これまでリースで整備されてきた。しかし、新たに整備するプロジェクターは寿命10年以上のレーザー光源を採用するため、リースよりも購入した方がコスト削減につながると理解できた。ICTカートをうまく活用し、子どもたちの学習意欲の向上が図られることを期待し、賛成。

常任委員会

常任委員会とは 地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び請願等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会です。本市では、次の6委員会が常任委員会となります。

産業建設 委員会

6月20日、付託された3議案を審査し、全ての議案を全会一致で承認しました。他に陳情2件を報告しました。

【第75号】地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例

質問 今回の条例改正により、高町東山地区が計画に追加され、42区画の宅地が予定されているが、周辺道路などの都市基盤の整備状況はどのようなか。

答弁 道路の整備状況としては、地区の50メートル北側に都市計画道路猿投公園線があり、幹線道路へのアクセスは良好である。地区が接続する既存道路は7メートルの幅員があり、円滑な交通処理が可能となっている。

また、上水道、下水道の整備状況としては、地区内にそれぞれ本管が整備されており、それらに接続する計画となっている。地区周辺は一定の都市基盤が整備されており、豊田市市街化調整区域内地区計画運用指針に定めている、既存ストックの活用が十分に図られた計画となっている。

【第78号】工事請負契約の締結（どんぐりの湯長寿命化空調設備修繕等工事）

質問 8月下旬から12月中旬まで閉館して工事を実施するとのことだが、この時期に工事を行う理由はどのようなか。

答弁 給湯ボイラーを含むどんぐりの湯の空調設備は、設置後から既に20年が経過しており、老朽化による修繕も頻繁に実施していることから、早期の更新が必要な状況である。

空調設備等の修繕工事の実施に

あたっては、稲武地区が寒冷地であることから、冬季の工事を避ける必要があるため、令和3年度から実施しているどんぐり横丁の増築工事完成後となる、令和4年8月からを工期とした。



どんぐりの湯

環境福祉 委員会

環境福祉委員会には今回付託された議案はありませんでした。なお、陳情1件を報告しました。

教育社会 委員会

6月22日、付託された16議案を審査し、全ての議案を全会一致で承認しました。他に陳情2件を報告しました。

【第68号】地域文化広場条例の一部改正条例

【第69号】美術館条例の一部改正条例

【第71号】体育施設条例の一部改正条例

【第73号】交流館条例の一部改正条例

質問 本年度、キャッシュレス決済を導入する公共施設を選定するに当たり、どのような考え方で選定を行ったのか。

答弁 公共施設の選定については、文化施設やスポーツ施設といった施設の種類、指定管理か直営かといった施設の運営方法の観点から幅広く選定した。なお、交流館については、令和4年度は利用者が多い5館を選定し、令和5年度には全館導入を予定している。

今後、これらの施設で利用ニーズ

を検証しつつ、令和5年度以降のキャッシュレス決済導入の拡大につなげていく予定である。

【第94号】財産の取得（授業用ICTカート）

質問 授業用ICTカートはオンラインでの授業など、新しい学習スタイルを推進する機能があると聞いているが、搭載されるプロジェクターを含め、授業用ICTカートの機能及び特徴、さらに子供たちへの効果はどのようなか。

答弁 プロジェクターは単焦点型で、黒板やホワイトボードから1メートル以内に設置して投影できるため、操作が簡単でかつ児童生徒の座席配置への影響を最小限にすることができる。光源はレーザーを採用し、映像は高輝度・高精細であるため、子供たちの考えを拡大投影して行うような協働的な学びの授業に、より効果を発揮すると考えている。レーザー光源は光源の寿命が長く、さらに劣化による明るさの低下がほとんどないのも特徴である。なお、カートは児童生徒の机の半分程度の大きさで、コンパクトなため、移動が簡単で様々な場所と学習場面での利用が期待できる。

地域生活 委員会

6月23日、付託された5議案を審査し、全ての議案を承認しました。

【第74号】旭高原自然活用村条例の一部改正条例

質問 バンガローからキャンプデッキに変更する経緯と期待する効果はどのようなか。

答弁 バンガローは設置後約40年が経過し、老朽化が著しいことなどから、利用者数が減少傾向にある。一方、近年アウトドア

需要が高まっており、とりわけテントを用いたキャンプの人気が高いことと合わせて、施設の整備費及び維持管理費がバンガローと比較して安価で済むことから、効率的な施設運営につながると判断し、キャンプデッキを整備することとした。

この整備に伴い、新たに大型テントの貸出などにより、キャンプ初心者を含めた利用者の増加を期待している。

【第92号】財産の取得(多目的資機材搬送車)

質問 今回の更新後に本市が所有する多目的資機材搬送車とコンテナの数、想定する災害及び配置場所はどのようなか。

答弁 多目的資機材搬送車は2台、コンテナは3基となる。想定する災害及び配置場所は、北消防署に、水難事故に対応するコンテナ、多数の傷病者が発生した災害に対応するコンテナ及びこれらを搬送する多目的資機材搬送車を配置する。また、生物・化学災害等に対応するコンテナ及び多目的資機材搬送車を、中消防署に配置する。なお、リモートコントロール式の消火・排煙車の搬送にも活用する。



多目的資機材搬送車

企画総務

委員会

6月24日、付託された4議案を審査し、全ての議案を全会一致で承認しました。他に陳情4件を報告しました。

【第65号】市税条例等の一部改正条例

質問 固定資産税に新たに貯留機能保全区域の特例割合が定められたが、これらはどのような区域で、本市においてはどの区域が指定可能となるのか。

答弁 貯留機能保全区域とは特定都市 河川浸水被害対策法により河川沿いの低地や窪地など、雨水を一時的に貯留する機能を有する土地を将来にわたって、その機能を保全することを目的とし、土地の所有者の同意を得た上で、指定する区域である。

この区域において、貯留機能を阻害するような行為をする場合は、届出が必要となり、本市では境川、猿渡川流域内において指定が可能となる。

【第86号】財産の取得(情報漏えい対策ソフトウェアライセンス)

質問 今回のソフトウェア導入により新しいネットワークを構築することが可能となるが、これを構築することにより見込まれるメリットはどのようなか。

答弁 新しいネットワークに移行すれば、全ての業務系パソコンでインターネットが利用でき利便性が向上する。また今後、主流になるといわれている、便利で安価なインターネット環境上で利用できるクラウドサービスの導入を促進することができる。

予算決算

委員会

6月17日から29日まで、付託された補正予算の議案3件を審査し、全ての案件を承認しました。

【第76号】令和4年度一般会計補正予算

《歳入21款1項1目 前年度繰越金》

質問 実質収支について、まだ予算計上されていない分があると認識しているが、予備費や財政調整基金などへの繰入れも含め、今後どのように活用していく予定か。

答弁 基本的に実質収支の残額は、状況の変化等により新たに必要となる事業を実施する場合に、必要な時期での補正予算の財源として有効に活用していく予定であり、現状では、予備費の増額は予定していないが、状況に応じて検討していく。

【第76号】令和4年度一般会計補正予算

《歳出3款4項4目、10款5項1目
こども園給食運営費
歳出10款6項7目 給食センター費》

質問 物価高騰に対するこども園や学校への給食費支援における、補正額の算定根拠はどのようなか。

答弁 補正額の算定は、昨年度提供した献立を数個選び、同じ食材で作った場合における経費を昨年度と現時点で比較し、物価上昇を年平均で2.5パーセントと見込み算定した。なお、この算定には、給食センター等でできる物価高騰への対応による経費抑制分を加味している。



こども園や学校で提供されている給食

一般質問

市政を問う!

6月13日から15日にかけて、19人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

北川 敏 崇

自民クラブ



- 明治用水頭首工の大規模漏水への対応
- ウィズコロナ・アフターコロナに関する経済対策

質問 大規模漏水に対する経緯と今後の対応見込み

用水利用者の立場に立った早期復旧と再発防止に向けた抜本的な解決に向け、市の考えを問う。

答 弁 市 長

今回の漏水に対して、本市が取るべき対応策について陣頭指揮を執り進めてきた。用水利用者への一刻も早い救済・支援と課題解決に向け、東海農政局長に対して緊急申入れを行った。漏水対策関係自治体会議の開催を呼びかけ、今後協調する方向性を確認した。農業者の不安等を少しでも和らげる気持ちとして、見舞金での支援を提案させていただく。

抜本的な解決は相当な期間が必要だが、引き続き県や関係市町と連携を図りながら、必要な対策を図っていく。



明治用水頭首工全景

中 島 竜 二

諸派



- コロナ禍における教育現場の感染症対策

質問 教育現場におけるマスク着用

マスクを着用したくない子供は無理に着用しなくてもいいのでは。マスクの自由化を含め今後の対応の考え方を問う。

答 弁 教 育 部

基本的な考え方として、学校は集団生活の場であることや学びの保障という観点から、マスク着用は有効な感染防止対策であり、一律のマスクの自由化ではなく、国の方針を踏まえ、感染状況や活動内容、身体的距離その他気温などに応じて対応する必要がある。その上で、マスク着用が支障になる可能性のある児童生徒に対しては、状況に応じて個別に対応していく必要があると考える。今後も国の動向を注視していく。

木 本 文 也

自民クラブ



- 再生平戸橋勤八峡

質問 (仮称) 勤八公園の整備促進

平戸橋町地内の現在の地形を生かし、自然に囲まれた公園整備を進めるべきではないか。市の見解を問う。

答 弁 都 市 整 備 部

地域住民等による勤八公園の整備活動には感謝している。新たな公園づくりに向けて、周辺土地利用の状況や全市的な公園整備のあり方を踏まえつつ、地域住民や関係機関の皆さんとの議論や調整を積極的に進めるなど、地域主体の将来のまちづくりに貢献できるよう、早期の合意形成に向けて取り組んでいく。



勤八峡

岩 田 淳

自民クラブ



- 未利用財産の利活用及び適正管理による市政運営

質問 更なる市有未利用財産活用で健全な市政運営を

組織再編により未利用財産のマネジメント強化を判断する時期だと考える。そこで、(仮称) 財産戦略課を新たに構築することについて、市の見解を問う。

答 弁 総 務 部

未利用財産の解消は、本市にとっても重要な課題であり、その利活用はスピード感と戦略性を持って進めていく必要があると認識している。しかしながら、新たな組織体制については、市全体の重点施策や事務事業を考慮しながら、今後検討していく。

吉 野 英 国

市民フォーラム



- 循環型社会への取組の推進

質問 リユースの取組強化

車載電池の二次利用リサイクルの体制構築が必要。自治体として今後どのように関わり取り組んでいくのか問う。

答 弁 企 画 政 策 部

本市が果たすべき役割は、二次利用により、長く有効活用できるリユースバッテリーなどを率先活用し、メリットを市民に伝えていくことである。本市は、これまでリユースバッテリーを公共施設等で活用し、市民に訴求してきた。今後、更なる市場拡大が期待される車載電池のリユースの仕組みづくりに向けて、官民の連携を強めていく。また、実証や普及拡大に向けて、支援制度の拡充を国や関係機関に働きかけていく。

※質問順に掲載しています。 ※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

古木吉昭

市民フォーラム



- 道路施設における適切な長寿命化の推進
- 未利用財産の戦略的な利活用に向けて

質問 新技術における道路施設工事への適切な採用

横断歩道橋の補修材が修繕後すぐに剥がれた事例を踏まえ、今後の道路施設修繕へ新技術を導入する際の対応を問う。

答弁 建設部

今後新技術を導入する際は、新技術情報提供システム (NETIS) に掲載されている活用効果評価結果などで確認された留意事項を、発注時の工事仕様書に明記するとともに、メーカーとの現場立会を実施し詳細な工法確認を行うなど、施工前に発注者と受注者が詳細情報の共有に努める。新技術は、現場条件により高い優位性が期待できることから、研修会への参加などを通じて、職員の知識向上を図りながら、積極的に導入を進めていく。

神谷丈一

自民クラブ



- 指定から間もなく30年を迎える生産緑地
- 犯罪と交通事故のないまちの実現を目指す

質問 先端技術を活用した交通安全対策

実証実験でのデータを活用し、最適なインフラ対策を展開することが重要。犯罪の未然防止を目的としたスマートポール機能の活用を検討すべきと考えるが、本市の見解を問う。

答弁 地域振興部

データを分析し、緊急性・重要性の高い箇所を優先し、迅速な対策の実施と実施後の効果検証を実現する仕組みの構築を目指す。スマートポールについては、交通安全への活

用のほか、子ども見守りシステム、特殊詐欺等発生予兆及び多発情報揭示、災害時避難所誘導表示など各方面への活用の可能性を調査・研究していく。また、新たな取組として高性能GPSにより、子供の視点からの交通安全対策に向けた調査・研究も進めていく。

杉浦健史

自民クラブ



- 魅力ある文化ゾーンの創造に向けて
- 第20回アジア競技大会に向けた本市の取組

質問 文化ゾーンの整備状況

1日を文化ゾーンで過ごすための仕掛けづくりをどう考えているか問う。

答弁 生涯活躍部

文化ゾーン全体を楽しんでもらうには、新たに建設する博物館のほか、美術館、市民文化会館へそれぞれの目的で来られた方に他の施設も訪れてもらう仕掛けが必要である。同時期に3施設が関連企画展などを開催し、マルシェなどでの飲食の提供など、緑地を使いながらゆっくり時間を過ごしてもらうことも重要である。市民文化会館の改修により、文化創造拠点の機能強化が図られ、文化ゾーンの大きな魅力となる。中心市街地全体を楽しんでもらえるよう、にぎわい創出に取り組む。



緑地でのマルシェの風景

奥村峰生

自民クラブ



- 心地よく楽しめるひと中心の都心づくり
- 公設地方卸売市場の現状と今後

質問 公設地方卸売市場としての必要性

公設地方卸売市場の継続経営について、これまでの経緯を踏まえ、公設である必要性も含めて問う。

答弁 産業部

中小の事業者、特に流通に不利な山間地域の事業者の仕入れに、名古屋市内の市場等と比較して移動距離や時間が短縮できるため、市民の食の生命線になっていると認識している。また、信頼性の高さから、集荷力があり、特に生鮮食品の安定供給に有利であり、地元農業者の出荷先として、地産地消推進の流通拠点人公設で確保することも重要であると考える。

一方、業界全体の取扱量が減少する中、民設では維持管理が負担となることから、現時点では公設の優位性が高いと考える。



公設地方卸売市場

一般質問の様子は、豊田市議会ホームページ (<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>) から視聴できますので、ぜひ御覧ください。

ご視聴の際はWi-Fi環境で!



市政を問う!

議員氏名
会派名



鈴木孝英

市民フォーラム



●持続可能な産業振興への取組

質問 産業の持続的発展に向けた「自動車+α」の取組

市内企業の競争力の向上のために行政が果たす役割も大きいと考えるが、CASEに係る自動車産業への取組について問う。

答弁 企画政策部

CASEの要となる電動車の普及拡大に向けて、電動車が走行できるインフラ整備や実証フィールド提供に取り組む。インフラ整備は、第2次豊田市次世代自動車充電インフラ整備方針を策定し、方針に基づき公共施設の充電機器の増設や、山村地域への急速充電器の設置などに取り組む。実証フィールドの提供は、自動車の走行配置をより正確に把握できるRTK-GPS基準局を設置した。技術革新と環境整備の両面について官民連携で取り組んでいく。

CASEとは

Connected(コネクテッド)、Autonomous(自動運転)、Shared&Service(シェアリング・サービス)、Electric(電動化)の頭文字をつなげた造語であり、100年に1度の変革期にある自動車産業の新潮流ともいわれます。

水野博史

自民クラブ



●鵜の首地区水位低下対策事業の波及効果

○「選ばれる都市」豊田市の魅力あるまちづくり

質問 鵜の首地区水位低下対策事業の現状と今後

県道細川豊田線の朝夕の交通量

は常に混雑している状況である。工事進捗に伴う周辺交通状況の把握をどう行うのか問う。

答弁 建設部

鵜の首橋の交通状況としては、平成28年の調査結果から、多くが通勤利用であることを把握している。しかし、昨今の通勤形態の多様化などにより、周辺交通状況は年々変化すると想定され、周辺交通状況を把握しながら工事を進めていくことが必要と認識している。特に竜宮橋の4車線化や鵜の首橋の撤去など、周辺交通に影響が想定されるタイミングでは、周辺道路利用の変化を把握することが重要であり、交通量をはじめとした交通状況調査を実施する予定である。

大石智里

公明党



○自分らしく生き抜くために

●子どもが集団生活に適応するための支援の活用

質問 保育所等訪問支援事業の利用促進

こども園や学校での保育所等訪問支援事業の円滑な受入れについて、市の見解を問う。

答弁 子ども部・教育部

こども園においては、園長会や保育士向けの研修会を通して、保育所等訪問支援事業の内容やその効果について、更なる周知を図り、より円滑な受入れに努める。

また、学校にとっても本事業は有効であり、受入れを円滑に進めるためには、学校が制度への理解を深め、保護者への対応を適切に行う必要があると考えている。今後は、教員向けの研修の場で、受け入れた学校の事例を紹介するなど、周知を図っていく。

福岡靖純

自民クラブ



○安心して自分らしく生きられる支え合いのまち

●中核市のさらなる連携強化

質問 中核市サミット開催の意義

中核市として、国や県に対し、意見や提案を行うことも必要。地域の核としての今後の取組について問う。

答弁 総務部

中核市は地域の核として、地方分権の推進と地域の発展に大きな役割を果たしている。将来にわたって持続可能な形で、地域の発展をけん引していく必要がある。中核市自らが判断して決定できる権限の拡大や、税財源配分の見直し、地方に対する規制緩和など、国や都道府県に対して積極的に働きかけていく。今後も中核市同士が連携協力し、環境、社会、経済など様々な分野でデジタルとリアルのバランスが取れた持続可能なまちづくりを推進していく。

中尾俊和

市民フォーラム



●生涯スポーツのまちに向けて

質問 活性化に向けた楽しむスポーツへの取組

国内の自治体でも、eスポーツによる地域の活性化に向けた取組が進められている。今後の取組と考えを問う。

答弁 生涯活躍部

eスポーツについては、第19回アジア競技大会から正式種目になるなど、世界的に注目が高まっており、大会を誘致することで経済波及効果が生まれ人的交流の活性化が見込まれると認識している。また、全国の自治体が、eスポーツを使って心身の健康

○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
実際に質問した内容(小項目)

答弁 回答した部局長
質問に対する市の担当部局の回答

増進や社会性の向上を目指して事業に取り入れている事例も多数あり、その事業評価を注視している。今後の取組としては、大会誘致や各種事業への活用を見極め、その効果や課題を整理していく。

石川 嘉仁

自民クラブ



●「水」の安定供給に向けた水道事業経営

質問 水道事業経営の健全化に向けた今後の方向性

健全化に向けて財政収支見通しの結果がどうであったのか、今後の水道事業経営の考え方について見解を問う。

答弁

上下水道局

現状の料金体系で、将来のための老朽化更新や耐震化対策などの事業推進を図る場合の8年間における中期財政収支見通しでは、早い年次で純損失、いわゆる赤字が発生する見込みである。施設等を更新する財源として純利益を確保する必要があることから、上下水道事業審議会に適正な水道料金のあり方について諮問し、議論してもらっている。答申結果を踏まえ、市民に不可欠なライフラインとして水道水の安定供給と、健全な水道事業を維持できる経営計画を構築していく。

近藤 厚司

自民クラブ



○市民ニーズと施設利用促進を促した通信環境整備
●水害から命を守るために

質問 水害時も継続できる給水体制

水害など災害時、飲料として利用できない水でも摂取制限を伴う給水を採用すべき。本市の考え方を問う。

答弁

上下水道局

平成29年度に水道水質安全プランで摂取制限を伴う給水対応を定めていたが、令和4年度に摂取制限の条件等を見直し、水質異常が発生した場合には、人の健康に与える影響が極めて低いと判断したときに限り、断水による市民生活の影響を最小限とする対応策として運用に努める。また、摂取制限を伴う給水に関する周知を徹底する必要がある。令和4年度は、山村地域にある浄水場の配水区域の住民を対象として、情報伝達訓練を計画していく。

根本 美春

諸派



○学校給食費無料化と公費負担
●加齢による難聴者の補聴器購入助成制度

質問 聴力検査と補聴器購入助成制度

社会参加や健康増進、認知症予防のため、加齢による難聴者への補聴器購入助成制度の導入を提案するが、市の考えを問う。

答弁

福祉部

認知症予防の観点では、補聴器の使用が予防に十分有効であるとの科学的な根拠が現時点では明確ではないため、市として補聴器購入費を助成する制度の導入は予定していないが、引き続き各方面の研究状況や、国の動き等を注視していく。

日當 浩介

市民フォーラム



●豊田市がめざすスマートシティ

質問 スマートシティの実現に向けて

市長が描くスマートシティの姿と実現への想いを問う。

答弁

市長

スマートシティの取組については、2009年に認定を受けた環境モデル都市が出発点であり、現在もゼロカーボンシティに軸足を置いている。

具体的な取組として、ICTといった先端技術を活用する一方で、豊かな自然や、ふれあい豊かなコミュニティ等を、私たちの世代が守り伝えていくことも必要なことと認識している。それらを通し、市民一人一人がそれぞれの幸福感を日常的に感じ続けながら暮らしていける幸福寿命を全うできる社会の実現を目指す。



とよたエコフルタウン

岡田 耕一

諸派



○市開発手続条例に基づく土砂採取、搬入等
●豊田市駅周辺整備

質問 豊田市駅東口駅前広場整備

駅前広場整備が本格的に始まるまでの間の暫定的な「とよしば」の存続と、広場整備の際の新たな芝生広場の整備を求める。市の見解を問う。

答弁

都市整備部

豊田市駅前における広場空間は、滞留やにぎわい創出に不可欠であると考えており、今後の豊田市駅東口駅前広場の整備に当たっては、「とよしば」での実証実験の結果を踏まえ、必要な機能を判断し、整備していく。なお、今後の「とよしば」の取扱いについては、現在進めている豊田市駅周辺における都市施設の全体施行計画を作成していく中で、判断していく。

議員提出意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大により発生した新たな行政需要に対し、国の指針に沿った適切な対応が地方自治体に求められている。また、ロシアのウクライナ侵襲による世界情勢の不安定な状況が地方財政に与える影響は計り知れない。現在、我が国が直面している少子・高齢化の進展により社会保障への対応、子育て支援策の充実、地域交通の維持・確保など、従来からの行政需要も高まりを見せている。加えて、大規模自然災害やインフラ施設の老朽化を踏まえた、国土強靱化やデジタル・ガバメント、さらには、持続的な経済成長への対応も急務である。このような社会の動向を受け、人材不足の深刻化、市税の減少、増大する行政需要には多額の費用が掛かるため、地方財政の財源は、2023年度以降、十分に確保できるのか大きな不安が残されている。

このため、2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、このような経済への影響を鑑み、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、下記事項について特段の措置を講じられるよう強

く要望する。

記

- 1 社会保障、感染症対策、防災・減災対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、持続的な経済成長を促すよう、地方の財源の充実を図ること。
- 2 新型コロナウイルス感染症の実態に即した行動方針を定め、経済活性化に必要な財源措置を図ること。
- 3 激甚化、頻発化する自然災害に屈しない、強靱な国土づくりに向け、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の強力な推進に必要な財源を安定的に確保するとともに、災害発生時における迅速かつ円滑な復旧を支援するTEC-FORCE等の災害対応力の強化のための人員体制の充実を図ること。
- 4 デジタル・ガバメントにおける自治体業務システムの標準化については、より完成度の高いシステムを構築するとともに、自治体の実情を踏まえ、一定のカスタマイズを可能とするなど柔軟に対応すること。また、地域経済の活性化に向け、市内企業のデ

ジタル化の支援やデジタル人材の育成につながる必要な財源措置を図ること。

- 5 カーボンニュートラルに向けた地方自治体の取組を支援し、目標の達成と産業振興につながる財源措置を図ること。
- 6 森林環境譲与税の譲与基準については、地方自治体と協議を行い、林業需要の高い自治体への譲与額の増額等の見直しを行うこと。
- 7 国際的に原油価格や原材料費の上昇が続く中、石油製品や食料品の物価上昇に対して地方自治体の健全な財政運営のために必要な財源措置を図ること。
- 8 矢作川明用水頭首工の大規模漏水に対し、原因の究明と適切な恒久対策を早期に講じるとともに、被害を受けた水利用者に適切な救済支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和4年6月29日
豊田市議会

シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

シルバー人材センターは、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された団体であり、会員である高齢者に就業機会を提供することで、生きがいのある生活の実現や地域社会の活性化に貢献するなど、重要な役割を担っている。

豊田市シルバー人材センターにおいても、2019年度から2024年度の6年間の第3次基本計画に基づき、地域社会とのつながりを大切に、健康で意欲の

ある高齢者がいつまでも安心して就労できる環境を実現するため、計画を推進しているところである。

こうした中、令和5年10月から、消費税におけるインボイス制度が導入されることに伴い、シルバー人材センターにおいては、就業の対価として会員に支払う配分金について、その消費税相当額を新たに負担する必要が生じている。

しかしながら、シルバー人材センターは、収支相償を運営の原則としており、新たな負担の財源はないことから、事業運営への深刻な影響が懸念されている。

よって、国におかれては、消費税におけるインボイス制度の導入後も、シルバー人材センターが安定的な事業運営を継続し、その社会的役割を十分に担っていただけるよう、シルバー人材センターに対する支援を図られることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和4年6月29日
豊田市議会

全国市議会議長会表彰

令和4年5月25日に東京で開催された全国市議会議長会定期総会において、根本美春議員が15年勤続表彰を、羽根田利明議員が10年勤続表彰を受けました。

6月市議会定例会の開会日に、板垣清志議長から表彰状が手渡されました。

写真左から▶

羽根田利明議員、根本美春議員



市議会の予定 9月市議会定例会は、9月2日(金)開会予定です

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp/>
豊田市議会 検索 ▶ 「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



『市議会だより』のバックナンバーや会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

一般質問の様子をスマートフォン等から閲覧できるようになりました。

※パケット通信が必要になりますので、携帯端末等での視聴はWi-Fi環境をおすすめいたします。



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継
チャンネル/78.6MHz



豊田市議会は、古紙配合率70%の再生紙と植物油インキを採用しています。

ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】
豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
TEL.0565-34-6665
FAX.0565-34-6566
Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

※この冊子は、折込み「6月市議会定例会号」です。